

空港における ヒアリの点検方法について

- ・本リーフレットは、平成30年1月環境省作成の「ヒアリの防除に関する基本的考え方」及び「ヒアリ同定マニュアル」をもとに、港湾、空港、物流等における事業者の皆様がヒアリの点検を行う際に参考としていただけるよう、ポイントを整理したものです。なお、今後の研究成果等により、適宜改訂していく予定です。
- ・ヒアリの点検は、航空貨物の保管方法に応じて、安全に留意し、可能な範囲で実施してください。

ヒアリの特徴

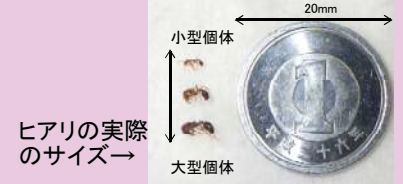
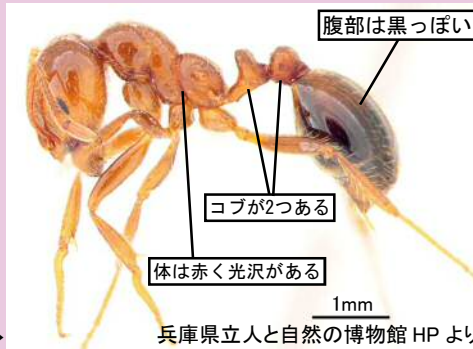
【体の色】

- ・全体に赤っぽい
- ・腹部（おしり）のみが黒っぽい
- ・体の表面に光沢がある

【体の大きさ】

- ・2.5～6.0mm 前後（参考：一円玉の直径は20mm）
- ・色々な大きさのアリが混じっている

顕微鏡でみたヒアリの側面→



より詳しいヒアリの見分け方については、右のQRコードより、環境省の「ヒアリ同定マニュアル」を参考にして下さい。



空港におけるヒアリのチェック箇所

※作業に差し支えない範囲で確認をお願いします。



航空貨物用コンテナ（デバンニング時）

- ・コンテナ表面にアリが付着していないか？
- ・積荷の表面、積荷同士の隙間にアリがいないか？
- ・梱包材（ビニールシート、ダンボール）にアリが付着していないか（矢印部）？
- ・コンテナ内部にアリがいないか？



航空貨物用パレット（解体時）

- ・積荷の表面、積荷同士の隙間にアリがいないか？
- ・梱包材（ビニールシート、ダンボール）にアリが付着していないか（矢印部）？
- ・パレット本体にアリが付着していないか？



航空貨物周辺の地面・床面

- ・航空貨物を蔵置している施設内の地面・床面をアリが歩いているか？



施設周囲の緑地

- ・施設周囲の緑地等（未舗装の地面）に、「ヒアリの特徴」に当てはまる疑わしいアリがいないか？

※点検に際しては、長袖や厚手のゴム手袋を着用するなど、ヒアリに刺されないように十分注意して下さい。

平成30年4月発行：国土交通省